



2025年4月17日

コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモ石油株式会社
コスモ石油マーケティング株式会社

大阪府堺市で全国初となるサービスステーションでの
SAF原料化を目的とした廃食用油市民回収の本格運用を開始
～11拠点に家庭系廃食用油の回収ボックスを常設～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司、以下「コスモ石油」）は、大阪府堺市（市長：永藤 英機）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤 雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レポインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也、以下「レポインターナショナル」）と、2024年11月に「持続可能な社会の構築に向けた廃食用油の資源化促進に係る連携及び協力に関する協定書」を締結※1しました。この協定に基づき、大阪府堺市に所在するコスモネットワークのサービスステーション（ガソリンスタンド）11拠点に、家庭から出る廃食用油を回収する専用ボックスを常設し、4月18日（金）より全国初となる SAF 原料化を目的とした市民回収の本格運用を開始します。

大阪府堺市での回収は、2024年6月より東京都内3か所のサービスステーションで実施している市民回収実証※2で得た知見を活用し、コスモ石油、コスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「コスモ石油マーケティング」）、コスモ石油販売株式会社（代表取締役社長：石本 耕二、以下「コスモ石油販売」）が、日揮 HD およびレポインターナショナルとおよび関係各社が協力して実施するものです。各回収ボックスに集まった廃食用油はレポインターナショナルが収集し、国内初の SAF 大規模生産を行う SAFFAIRE SKY ENERGY ※3 のプラント（コスモ石油堺製油所内、2024年度生産開始）へ供給し、国産 SAF の原料として資源化されます。

コスモ石油、コスモ石油マーケティング、コスモ石油販売、日揮 HD およびレポインターナショナルは、SAF のサプライチェーン構築に向けた事業開発を加速させるとともに航空業界におけるカーボンニュートラル推進を行います。また、日本国内における脱炭素化に向けた資源循環の機運を高め、国産 SAF の供給体制を強化してまいります。

<運用要領>

1. 運用開始日 2025年4月18日(金)

※太陽工業株式会社 御陵通のサービスステーションは5月以降開始予定

2. 回収拠点

(1) セルフ宮山台

住所：〒590-0101 大阪府堺市南区宮山台 3-1-7 (TEL：072-343-2536)

(2) セルフピュア北条町

住所：〒593-8302 大阪府堺市西区北条町 2-22-10 (TEL：072-277-9164)

(3) セルフ船堂町

住所：〒591-8003 大阪府堺市北区船堂町 1-2-3 (TEL：072-343-2531)

(4) セルフステーション中環大泉

住所：〒591-8012 大阪府堺市北区中村町 756-1 (TEL：072-343-2532)

(5) セルフステーション長曾根

住所：〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 3047-5 (TEL：072-343-2530)

(6) 株式会社酒直 パークザビエル

住所：〒590-0940 大阪府堺市堺区車之町西 2-7-1 (TEL：072-229-7213)

(7) 小浦石油株式会社 セルフ御池台

住所：〒590-0134 大阪府堺市南区御池台 2-13-2 (TEL：072-297-3451)

(8) 小浦石油株式会社 B - c l e センターセルフ赤坂台

住所：〒590-0142 大阪府堺市南区檜尾 3654-1 (TEL：072-275-1005)

(9) 小浦石油株式会社 セルフ泉ヶ丘 S S

住所：〒590-0116 大阪府堺市南区若松台 1-1 (TEL：072-293-3869)

(10) 小浦石油株式会社 セルフ泉北菱木 S S

住所：〒593-8315 大阪府堺市西区山田 4-1046-4 (TEL：072-273-5167)

(11) 太陽工業株式会社 御陵通

住所：〒590-0046 大阪府堺市堺区三条通 1-2 (TEL：072-221-4414)



廃食用油回収ボックス設置イメージ（セルフステーション長曽根）

○各社の役割

コスモ石油	SAF（持続可能な航空燃料）の製造および、航空各会社への輸送を主に担当し、安定した供給体制を確立する役割を担う
コスモ石油マーケティング	サービスステーションとその廃食用油の市民回収の運営統括、および航空会社への SAF の販売
日揮 HD	廃食用油を原料とする SAF 製造事業に関するサプライチェーンの全体構築
レボインターナショナル	サービスステーションから廃食用油を収集し、SAFFAIRE SKY ENERGY が大阪府堺市で推進する日本初となる国産 SAF の大規模生産プラント（2024 年 12 月完工）向けに納入
SAFFAIRE SKY ENERGY	廃食用油を原料とした SAF の製造

3. 回収実証の流れ

- つかう : ご家庭で揚げ物などに使った使用済みの食用油（廃食用油）をペットボトルなどふたの閉まる容器に入れる。
- だす : ペットボトルなどの容器に入れた廃食用油をサービスステーションに設置されている廃食用油回収ボックスに入れる。
- はこぶ : レボインターナショナルが廃食用油を回収し、コスモ石油堺製油所構内

(大阪府堺市内)の SAF 製造装置まで輸送。

つくる : 運ばれた廃食用油を原料として、SAF 製造装置にて SAF を生産。

つかう : SAF が航空機に搭載され、航空燃料として利用される。



回収ボックスの設置場所、並びに回収要領の詳細については以下リンクよりご確認ください
だけです。

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2025/250417-02/250417jp_02_01.pdf

※1 2024 年 11 月 25 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2024/241125-01/241125jp_01.pdf

※2 2024 年 6 月 24 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/press/2024/240624-01/240624jp_01.pdf

※3 2022 年 11 月 8 日 プレスリリース

https://www.cosmo-energy.co.jp/content/dam/corp/jp/ja/news/2022/11/08/pdf/221108jp_01.pdf

【国内初の国産 SAF 大規模生産事業について】

コスモ石油は、日揮 HD、レポインターナショナルと共同で国内での廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社サファイアスカイエナジーを設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。なお、本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）より採択を受けた助成事業です。

NEDO ホームページ： https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

コスモエネルギーホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 蒔田・山田

cosmo_pr@cosmo-oil.co.jp